様式6

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・素描Ⅲ	単　位　数	4
		学科・学年・学級	普通科・創造表現コース　第3学年

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	・描くことの喜びを知り、意欲的に、より発展的に制作する態度を養う。 ・美しさを探求し積極的に感じとる心を養う。 ・自己の作品や他の作品を鑑賞する態度を養う。 ・基礎的な表現技法について習熟する。
使用教科書・副教材等	・新　美術　表現と鑑賞（日本造形教育研究会／開隆堂出版株式会社） ・本校作成プリント

2　評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a.　関心・意欲・態度	・美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	制作への意欲 授業態度など	10%
b.　芸術的な感受や表現の工夫	・多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	対象への関心 表現の工夫など	20%
c.　創造的な表現の技能	・工夫して（意図に応じて）材料、用具を活かして表現することができる。	画材や技法への探求心など	60%
d.　鑑賞の能力	・美術の働きや美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。	美的好奇心や観賞能力態度など	10%

3　学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	10	素描実習Ⅰ （幾何形体）	鉛筆を用いた素描表現の学習 ・形体の把握	○		○	
	4	15	素描実習Ⅱ （静物）	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆、木炭描写の特性を生かした表現について ・空間の把握と表現について （用紙／木炭紙・木炭紙大画用紙）	○	○		○
	5～6	15	素描実習Ⅲ （石膏）	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・鉛筆または木炭の特性を生かした描画法 ・フォルムとムーブメントの把握について （用紙／木炭紙・木炭紙大画用紙 ）	○		○	
	6～8	20	素描実習Ⅳ （人物等）	鉛筆及び木炭を用いた速写描法の学習 ・人体の比率とバランスについて ・フォルムとムーブメントの把握について （用紙／四切更紙・四切画用紙 ）	○	○		○
	9～11	12	素描実習Ⅴ （テーマ制作）	素描表現の学習 ・画面の構成力を高める ・応用表現の研究 （用紙／全判画用紙 ）	○	○	○	○
後期		28						
	12～1	20	素描実習Ⅶ （石膏・静物応用）	鉛筆及び木炭を用いた素描表現の学習 ・画面の構成力を高める ・フォルムとムーブメントの把握について ・石膏像の量感や静物の質感の表現 （用紙／木炭紙・木炭紙大画用紙）鉛筆を用いた	○		○	

	2～3	20	素描実習Ⅷ （イメージ表現）	各自のテーマに基づいた素描表現の学習 ・テーマ、表現方法、モチーフの選定について ・制作意図に応じた表現方法の工夫について ・表現材料の選定や技法の活用について	○	○	○	○

【その他】